

看護職員処遇改善評価料

第1段階 2022年2月～9月

- * 補助金を活用した収入の1%程度
(月額4000円)引き上げ

第2段階 2022年10月以降、

- * 診療報酬の加算として3%程度
(月額12000円)引き上げ

対象医療機関は主には急性期の医療機関

このまま黙っていても変わらない

本日お伝えすること

- 見直しを求めるための運動の実際
- 運動に至った背景ときっかけ

見直しを求めるための運動の実際

- 都内の医療現場の声を国へ伝える
- 多くの看護師への周知と協働で運動を広げる

5

見直しを求めるための運動の実際

- アンケート調査：施設代表者対象
- 請願署名：個人署名（目標8000筆）・施設署名（目標400団体）
- 学習：民医連で働く看護職員向けに動画作成（10分くらい）
- 東京都看護協会・訪問看護ステーション協会との懇談

詳しいアンケート内容はこちらから➡



見直しを求めるための運動の実際

各施設の看護代表者の皆様へ

東京民医連看護協会
会長 橋本 京子

2022年(令和4年)度診療報酬改定で新設された「看護職員処遇改善評価料」の改善をめざしたアンケート、署名のご協力をお願い

拝啓

初めまして、貴施設におかれましては長年にわたるコロナ禍で、ご苦労はひとほどお察しします。当会は、市民活動型、訪問看護チーム、介護事業部等、303の施設が加盟する団体で、理念として「無差別、平等の医療と福祉」をめざして各地で働き手をあわせて、いのちと健康を守る取り組みをすすめてまいります。

さて、2021年11月19日に開催された「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、第1次として2022年2月から「看護職員処遇改善事業補助金(月額4000円)」,第2次として同年10月から診療報酬改定による「看護職員処遇改善評価料(月額労務費1万2000円)」が創設されました。

改善率: 東京民医連看護協会(令和4年度診療報酬改定) 看護職員処遇改善

URL: <https://kango.jp/kyo/20230928-06-06/>

改定後50%増とす。診療報酬の算定方法の一部改定に伴う労務費上の看護職員処遇改善評価料の創設をめぐって署名を呼びかけ、署名のお願いです。

これらの看護職員の処遇改善がはからず、やむを得ず処遇改善の恩恵が限定されてきています。場合では、9月30日、看護職員処遇改善(診療報酬改定)署名の活動があった施設の署名をいただくことができました。このご支援をありがとうございます。署名が施設長と看護職員をはじめとしたケアが提供する職員からなっています。

たいへんお忙しいところ恐縮ですが、

- 一、「看護職員処遇改善評価料」の署名をアンケートの回答はgoogleフォームに書き添えていただきます。署名の
- 一、看護職員(対象させていただきます) 施設長(団体署名) 国や府で署名する(個人署名)

※このアンケートは、施設長を2022年10月1日の診療報酬改定に際して施設を本協会の加盟施設が確認可能な場合は署名をお願いいたします。

<この件についての東京民医連看護協会 東京民医連看護協会
TEL:03-5978-2741



都内5

【アンケート結果】

集計結果を、当会ホームページ上に掲載致しますのでご確認ください(施設や個人名が特定できないようにいたします)。

以上

※ この件についてのお問合せ等ございましたら、下記担当までご連絡ください。

東京民医連看護協会 看護部:伊藤洋子
〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-23-10 クラスビル2階
TEL:03-5978-2741 Email:kango@tokyominiren.gr.jp

1. 2022年10月に改定された令和4年度診療報酬改定による「看護職員処遇改善評価料」を敢断的に見直し、すべての看護職員が対象となる制度とすること
2. すべての施設従事者の処遇改善及び体制充実に向けた活動の引き上げをすること

年 月 日

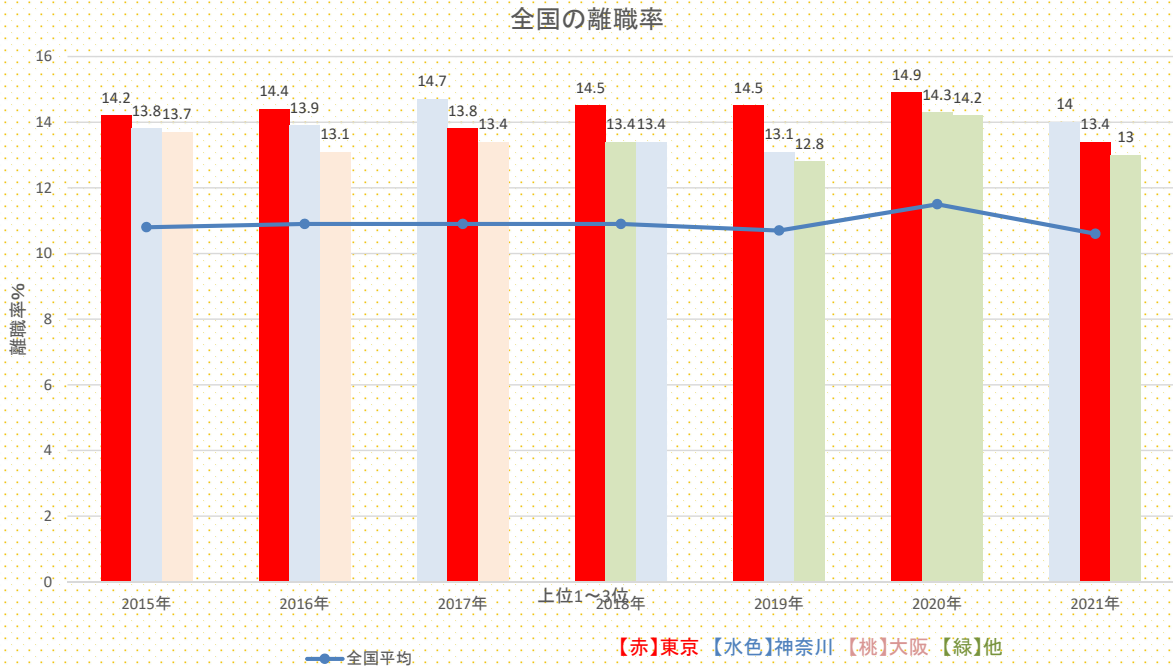
署名者 住所
団体(事業所)名
代表者名

運動に至った背景

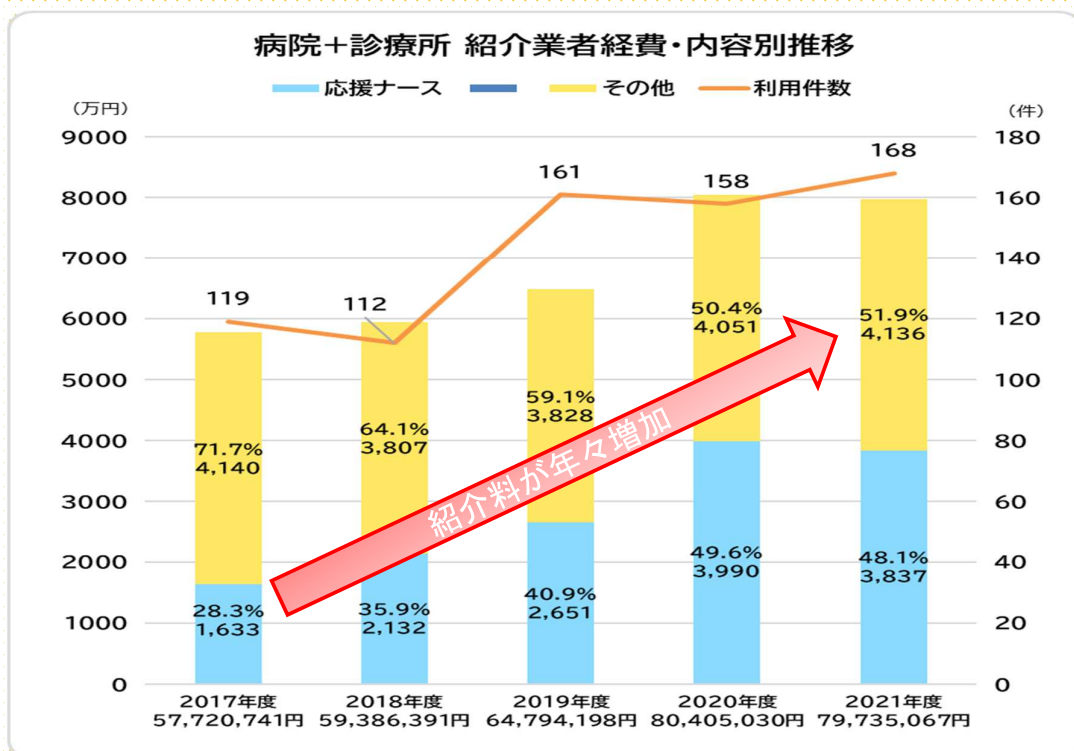
東京民医連の課題

看護師確保がとにかく厳しい

運動に至る背景



運動に至る背景



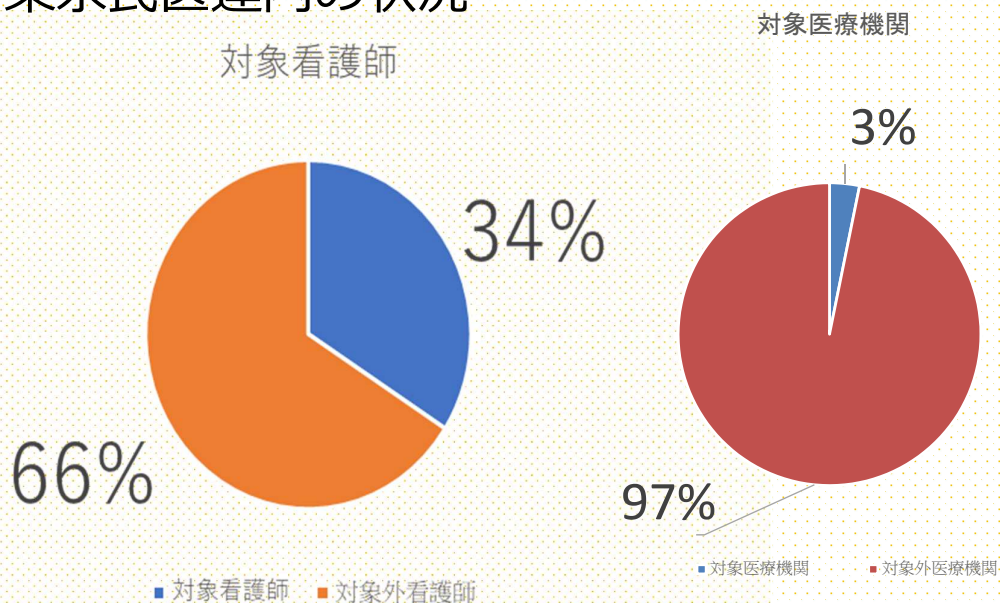
運動に至る背景

病床数	看護師(正規雇用)の離職率	新卒看護師の離職率	中途採用看護師の離職率
99床以下	11.7%	10.5%	17.7%
100~199床	11.7%	11.3%	17.8%
200~299床	11.4%	8.3%	14.7%
300~399床	10.7%	9.3%	15.1%
400~499床	10.0%	8.2%	12.7%
500床以上	9.8%	7.2%	12.2%
無回答・不明	10.0%	0.0%	20.0%

資料: 日本看護協会 病院看護実態調査

運動に至る背景

東京民医連内の状況



運動に至った背景

東京民医連 No.78 2022年9月24日
新型コロナウイルス感染症対策ニュース

高いマスクの下で対応しています」と訴えました。
はくと医療支援の大島さんは、「従来の役割を果たしている各機関に対し、今回、コロナ禍での役割の拡大を認め

福岡民医連は4月から取り組み、 福岡県へ請願書を提出しました

・請願書提出

6月福岡県議会第18回定例会会期:6月3日(金)~6月21日(火)
請願書提出日:6月10日(木)
添付した資料:

- ① 請願署名(個人) **8,156筆**(署名用紙**1,834枚**)
- ② 請願署名(団体) **93事業所**(**18病院・75訪問看護ステーション**)
- ③ 請願署名集約表
- ④ 請願署名見本(個人・団体)
- ⑤ 「看護職員等処遇改善事業」に関するアンケート調査の報告
- ⑥ 西日本新聞「新型コロナ対応の賃上げ、対象外で看護師から憤る声」
- ⑦ 西日本新聞「コロナ患者対応 国の賃上げ補助 県内**31**医療機関対象外

いふら直接受たりと思われれることがある。高岡では少ない件数で照会所にしかなる引けることが出来る。現在でも無
種別の訪問で集まっている。訪問看護では、訪問医に「集が出ました。家医が傾注した」とおられるなど、非常に
に含りました。引き続き運動を広げましょう。」

今、行っているアンケートから

- ・コロナ流行期は、外来医療も超繁忙期となり、電話対応から、東京都キット手配まで丁寧に案内しています。
- ・第7波では疲弊した状態でした。看護師として職場によって報酬に違いがある事の説明は困りました。
- ・療養者には高齢の方も多く、ひとたび陽性となっても入院する施設もない状況に置かれます。そういう中で外来、在宅医療従事者の関わりも相当数の負荷がかかっています。
- ・看護職全員への処遇改善がされないことに疑問はぬぐい切れず、今回の制度には看護職全体の処遇がもともと低いことが問題の根底にはあることと感じています。

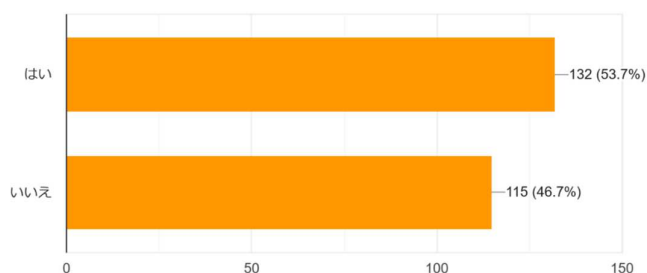
今、行っているアンケートから

- ・看護職員処遇改善評価料について
「知らなかった」という声が半数あり。
(1月25日時点、246件の返答あり)

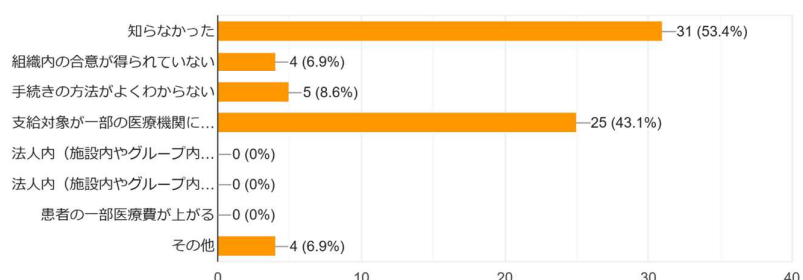
- ・民医連以外の医療機関からは、
「国が制度を認めても法人が認めない状況である」
「これでは在宅の看護師が増えなくなる」
「入院できない療養者は診療所や在宅の看護師が苦慮しながら対応していることをもっと評価して欲しい」

看護師処遇改善評価料が まだ認知されていない

問1 10月からの「看護職員処遇改善評価料」がどのような制度かご存じでしたか？
246件の回答



③ ①で「算定しない」と答えられた方へ理由について該当するべきすべてを選択して下さい。
58件の回答



おわりに

- ・県連として取り組むことで、より多くの現場の声を聞くことができました。
- ・そして、制度の課題の大きさを改めて実感しました。
- ・そして、この課題は、さらに私たちの処遇の改善につながるチャンスかもしれません。
- ・このチャンスを逃さず、広く、長く運動してきたいと思えます。

17

ご清聴ありがとうございました

18